

第6回 高齢者のお薬を考える会

日時：2018年6月7日(木) 19:30~21:00

場所：倉敷中央病院看護研修センター



ポリファーマシー、認知機能・視覚機能の低下に伴う残薬の増加、お薬手帳や実薬管理等々、超高齢化社会に伴い「お薬」が絡む多くの問題を私たちは抱えています。多職種が集まって、情報を共有することで、有害事象の未然回避を協働してできるようにする症例検討会です。ご興味おありの方、お誘いあわせの上、是非、ご参集ください。

(お車でお越しの際は、駐車券を会場受付にご持参ください。無料の手続きをいたします。)

19:30~21:15

症例1) ARB 2剤の重複投与が原因と考えられる高K血症で救急ICU入室した77歳F

倉敷中央病院薬剤部 阿曾沼 和代

20:15~21:00

症例2) 嘔吐後、意識障害で救急搬送された90歳女性の薬剤性高アルミニウム血症・高Ca血症

倉敷中央病院 総合診療科医師 國永 直樹

共催：岡山県病院薬剤師会 倉敷中央病院薬剤部 岡山県薬剤師会(倉敷支部・玉島支部)

問い合わせ先：倉敷中央病院薬剤部 高柳・阿曾沼 TEL：086-422-0210(病院代表)

E-Mail: phaso@kchnet.or.jp

日本薬剤師会研修センター認定研修：1単位(申請中)

日本老年薬学会認定研修：1単位(申請中)

日病薬病院薬学認定薬剤師制度(研修番号V-1:0.5単位 V-3:0.5単位)(申請中)